

小冊子「小池邦夫のうちあけ話」の発行について

2024.8.26
定例記者会見資料
(情報提供)

絵手紙作家及び狛江市名誉市民である小池邦夫氏(令和5年8月31日に御逝去)の足跡を辿り、小池氏の功績を多くの人に伝えるとともに、ひいては「絵手紙発祥の地-狛江」の魅力を広く発信することを目的に、小冊子「小池邦夫のうちあけ話」を発行します。

本書は、広報こまえ(令和5年4月1日号～令和6年3月15日号)で24回にわたり連載された記事「小池邦夫のうちあけ話」を一冊の小冊子にまとめたもので、連載記事のほか小池邦夫先生の絵手紙作品集や活動年表などの資料も掲載しています。

小池邦夫のうちあけ話の概要

■作成予定部数

1,000部

■規格

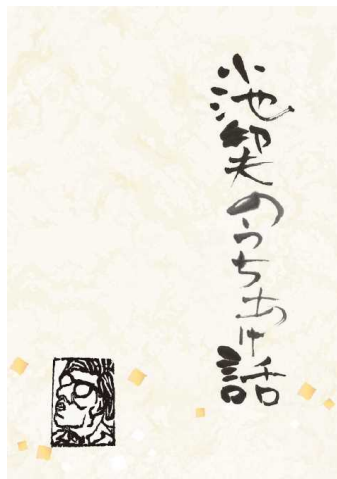
本体A5判、64ページ
(表紙・裏表紙…2ページ、本編…62ページ)
4色(オールカラー)]

■発行時期

令和6年8月31日

■頒布価格

200円 ※秘書広報室窓口にて頒布



小池邦夫さんと絵手紙発祥の地-狛江

小池邦夫さんは昭和56年に自宅のあった狛江の地(狛江郵便局)で、日本で初めて開催された絵手紙教室にて講師として指導を開始。絵手紙の文化は狛江から全国へと広がっていき、狛江市は「絵手紙発祥の地」として認識されるようになりました。

令和2年に狛江市初の名誉市民に選出。令和3年に文化長官表彰。令和5年8月31日、自宅にて永眠。